

お詫びと訂正

2025年版 大学赤本シリーズ『517/甲南大学』におきまして、内容の一部に誤りがございました。訂正箇所をお知らせいたしますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

教学社編集部

記

2024年度 公募制推薦 英語 p. 35, 39

大問1 5 解答・解説

誤 解答：(C)

正 解答：(B)

解説：第5段 (The *chullos* also…) で、よい伴侶の印は、逆さにしたときに長い時間水を溜めておけるほどに堅く、きちんと編まれたチューリヨを作る能力であるとされ、未来の義理の父親が娘の夫になるかも知れない男性のチューリヨをテストする模様が記されている。よって、(B)の第5段が正解。

2024年度 公募制推薦 国語 p. 58

大問1 問3 解答・解説

誤 解答：1

正 解答：3

解説：ベンヤミンの考えは「複製技術は、旧来の芸術のもつ〈いま・ここ〉の一回性を奪いとるもの」(第三段落)である。筆者が第五段落で「ベンヤミンはきわめて重要な問題を言い当てています」と述べている点に着目しよう。その直前に「『芸術作品の〈いま・ここ〉的性質だけは必ず無価値』になるとベンヤミンは断言していました」とある。これは3の「芸術の一回性が喪失することをベンヤミンは指摘していた」にあたる。1も内容としては誤りではないが、インターネットのみに限定している点が不適切である。

2024年度 公募制推薦 国語 p. 59-p. 61

大問2 問3 解答・解説

誤 解答：4

正 解答：5

解説：空欄Yを含む段落にある「ゆうべなくなった、つまり死んだ、と、聞かされた

その意味をわかってはいたが、こうして目の当たりにしてみると死ぬとはどういうことなのかやっぱりわからなくなり混乱していた」と5が合致する。「いままでは概念としてしか理解していなかった」とは、「子ども」=秀斗が、「死んだ」という言葉の概念については理解していた、ということである。「ゆうべなくなった、つまり死んだ、と、聞かされたその意味をわかってはいた」がこれにあたる。

大問2 問7 解答・解説

誤 解答：1・3

正 解答：2・3

解説：1は「縁起」という言葉を繰り返し用いている場面では、すでに落ち着きを取り戻しているので「次第に落ち着きを取り戻していく人びとの気持ちの動きを表現」が不適。2は第一段落の「斎場で通夜の準備が進む頃には、その人を故人と呼び、また他人からその人が故人と呼ばれることに、誰も彼も慣れていた」の説明として適当。3は傍線部3の二つ前の段落の「まあ諦めるしかない話…その渦中にあることの連続なのだ」の説明として適当。4は「悲惨な人生を軽く受け止めよう」とが不適。第二十五段落と異なる。紗重は子どもを産んだことで「全然別のところで生まれていたのではないか」という世界観の変化を得たのである。5は「ダニエルと紗重の仲の悪さ」が不適。最後の四段落を読むと二人の仲は良好であることがわかる。

2024年度 一般前期 物理 p.161

大問1 III. (f)(g)(h) 解答

誤 (f) $mg \sin \theta$ (g) $mg \cos \theta$ (h) $\mu mg \cos \theta$

正 (f) $-mg \sin \theta$ (g) $-mg \cos \theta$ (h) $-\mu mg \cos \theta$

2024年度 一般前期 物理 p.162 1,2行目

大問1 III. 解説

誤 と垂直な成分はそれぞれ

$$mg \sin \theta, mg \cos \theta \quad (\rightarrow(f), (g))$$

正 と垂直な成分はそれぞれ向きに注意して

$$-mg \sin \theta, -mg \cos \theta \quad (\rightarrow(f), (g))$$

2024年度 一般前期 物理 p.162 5,6行目

大問1 III. 解説

誤 $N = mg \cos \theta \quad f = \mu N = \mu mg \cos \theta$

(\rightarrow (h))

正

$$N = mg \cos \theta$$

$$f = -\mu N = -\mu mg \cos \theta \quad (\rightarrow(h))$$

2024 年度 一般前期 化学 p.170,171

大問3 問7 2) 解答・解説

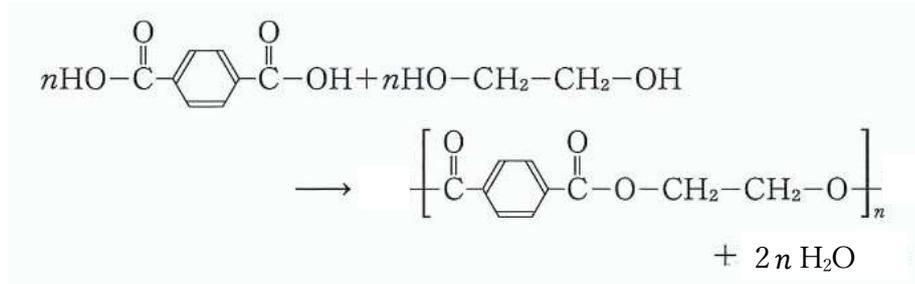
誤

解答：① 4.0×10^2 g ② 54 g

正

解答：① 3.8×10^2 g ② 72 g

解説：



①題意より，重合度は十分に大きいため，ポリエチレンテレフタラートの分子量は $192n$ である。反応物がそれぞれ 2.0 mol であり，ポリエチレンテレフタレートは $\frac{2.0}{n} \text{ mol}$ 生成するので，その質量は

$$192n \times \frac{2.0}{n} = 384 \approx 3.8 \times 10^2 \text{ [g]}$$

②水は $2.0 \times 2 = 4.0 \text{ [mol]}$ 生成するので，その質量は

$$18 \times 4.0 = 72.0 \approx 72 \text{ [g]}$$

2024 年度 一般前期 国語 p.178-p.179

大問2 問8 解答・解説

誤

解答：2・4

正

解答：4・5

解説：4は第五段落と合致する。5は第六段落の「正直の者をば天、これを助けて幸を得しめ」「生死の稠林を出づるには、心なほくして出でやすしと言へり」に合致する。「稠林」は（注11）に「林に木が生い茂るように、煩惱がしきりに起こること」とあるので、「稠林を出づる」は「煩惱にとらわれることから抜け出す」という意味になる。1は「仏の化身」が本文にない内容。2は「原中にいた上古の女人」が不適。本文冒頭によれば、原中の女人は「近きころ」の人である。第四段落にも「文永年中の事なれば、無下に近き事なり」とある。第四段落の「上古には、かかるためしもあり。当世には、まめやかに有り難き、正直の賢人なり」は「上古には、（人々が皆正直だったので）この女人と同じように正直な人の例もある。（しかし、正直な人の少

なくなった) 現代では、(この女人は) 本当にめったにない、正直な賢人である、と
いう意味である。また、「人の心のまがれるを引きなほす道ともせむと思ひて、この
物語に書き置き侍る志、ただこれによりてなん、思ひ始め侍るなり」は、この話を聞
いて感激した作者が「この物語 (= 『沙石集』)」に書き留めたということなので、
「語り継がれているのであろう」も不適。3は恵まれた境遇を得るのが目的で、正直
なふるまいはそのための手段になってしまっている点が不適。

以上